

ササバギンラン

Cephalanthera longibracteata Blume

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

従来はやや普通の植物であったが、近年急激に減少し、稀産の植物となった。(現況:V-)

形態

近縁種はギンランであるが、本種では苞がよく発達し、線形で下部の1~2個は花序よりも長い。ギンランでも下位の花の苞は発達するがそれほどではなく、形は狭三角形である。

国内分布

北海道、本州、四国、九州(大分)さらに朝鮮半島、中国(東北部)にも分布。

県内分布

奥能登、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

多年生草本、開花期は5~6月。

生育環境

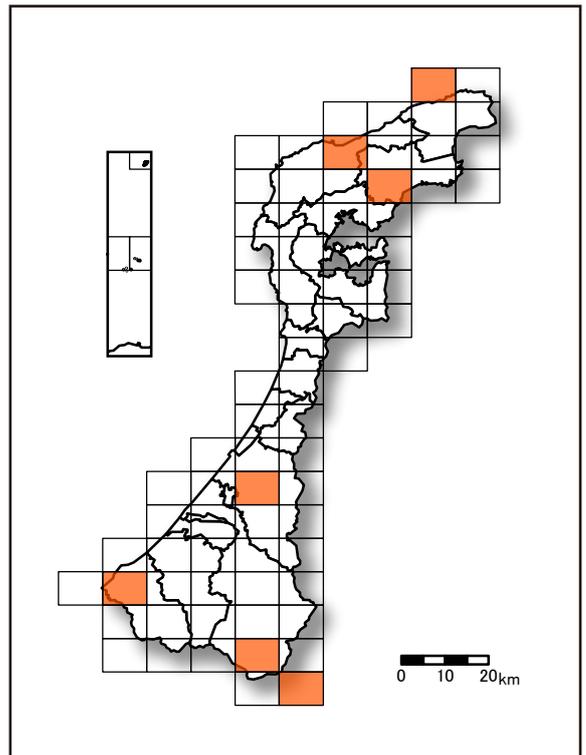
夏緑樹林、スギ植林などの林床や林縁。

危険要因

園芸採取、自然遷移。



白井伸和・2002年6月5日・白山麓



県内の分布